



田迎の風

文責：校長 堀川 誠治

2026年 スタートです！

いよいよ2026年が始まりました。子どもたちだけでなく、保護者や地域の皆様にとって素晴らしい1年になることを願っています。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。

充実した一年を送るためには一年の初めにきちんと目標や計画を立てて努力することが大事だという意味です。

冬休みに頑張してほしいことの一つとして、

「ワクワクするような目標を立てよう！」という話をしました。



「ワクワク」という気持ちの原動力は、「好き」や「楽しい」といった前向きな感情だそうです。私自身も「次の目標は何にしようかな？」と悩むことがありますが、自分の関心があることや、好きなこと、楽しみにしていることを目標にすれば、いろいろな目標を立てることが出来そうです。

少し前の話になりますが、平成27年の文部科学省の提言の中で、「『今の子どもたちの65%は、今は存在していない職業に就く』、『今後10~20年で、多くの仕事が自動化される』とされており、将来の変化を予測することが困難な時代を生きる子どもたちは、自ら課題を発見し、他者と協働してその解決を図り、新しい価値を創造する力を育成することを目指す必要がある」としています。

この提言は今から10年以上前のものですが、今の社会の様子を見ていると、予測された通りの世の中になりつつあると感じます。今からさらに10年後の世の中はどのようなになっているのでしょうか。

このように、現在、将来の変化を予測することはますます難しくなっています。だからこそ、どのような状況になっても、自分から進んでいろいろなことに取り組む姿勢がとても大切になってきます。

そう考えると、自分の「好き」や「楽しい」と言った前向きな感情をもとに、様々なことに「ワクワクしながら挑戦すること」はとても大切なことだと思います。

学校でも、子どもたちの「好き」や「楽しい」の感情が高まるような教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

【学校からのお知らせとお願い】

○2月4日(水)に、本校において、熊本市教育委員会指定「学力充実」モデル校発表を行います。低・中・高学年を代表して、2年1組(道徳)、3年1組(体育)、5年1組(国語)で公開授業を行います。当日は多くの教員が学校に来校しますので、運動場や正門付近のスペースを駐車場として使用します。送迎等でご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、あらかじめご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

裏面もご覧ください。

「やっではならぬ やらねばならぬ ならぬことは ならぬものです」

福井市と熊本市は、福井藩の藩政改革に取り組んだ横井小楠や細川家から松平家へ嫁いだ勇姫等の歴史的な縁もあり、平成6年に姉妹都市となっています。その直後から始まった事業が小学生の相互交流事業です。夏と冬のそれぞれにお互いの都市を訪れて、様々な体験活動を行います。

私も今から15年前に、指導員として交流事業に参加した経験があります。

「やっではならぬ やらねばならぬ ならぬことは ならぬものです」

この言葉は、江戸時代の会津藩（現在の福島県会津若松市）での「什の掟（じゅうのおきて）」という当時の子どもたちのグループ内での約束です。300年以上の時間が過ぎ、今の時代にはそぐわない内容もありますが、なるほどなぁと改めて考えさせられる約束もあります。

- 一、うそをついてはなりません
- 一、ひきょうなことをしてはなりません
- 一、いじめをしてはなりません 等（一部抜粋）



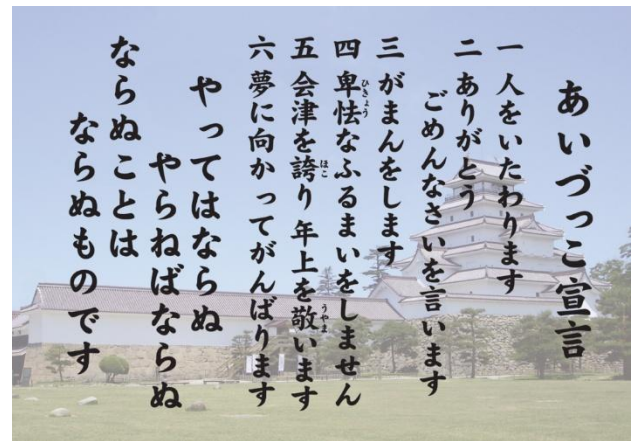
これらは、子どもたちの間の約束ですが、約束を破れば厳しい罰もあったそうです。会津の子どもたちは、「人として、してはいけないことは、絶対にしてはいけない。」ことを互いに学びながら立派な大人になれるように頑張っていたそうです。

現在の福島県会津若松市では、その会津藩の「什の掟」の教えをヒントに、「あいづっこ宣言」が作られています。田迎の子どもたちにも当てはまる「なるほどなぁ」と考えさせられる宣言です。

学校や社会には、守らなければならないルールがあります。やっではいけないこと、やらなければいけないことを区別し、ルールを守る強い心をもって、自分で考えて行動することは大切です。

ルールや約束は、みんなが楽しく仲良く生活するためにあります。それを破ってしまったら、自分はいいかもしれませんが、誰かが嫌な気持ちになったり苦しんだりしているかもしれません。

そう考えると、「ルールを守る」という「当たり前」のことを当たり前にする」ということは、相手の気持ちを考え、相手の身になって考える「思いやり」につながります。



子どもたちの思いや主体性を尊重することはとても大切なことです。しかし、まだまだ心身ともに成長途中の子どもたちです。子どもたちの思いを大切にしつつも、「よいことはよい、ダメなことはダメ」と是々非々をしっかりと教えるのも私たちおとなの役目だと思います。

子育ては、学校だけでも、家庭だけでもできるものではありませんので、これからも保護者の皆様と一緒に子どもたちのよりよい成長を支えていければと考えています。

表面もご覧ください。